

科目名	事件で学ぶ法律学 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			総合政策学部 学科	□ 必修 ■ 選択 □ 必修 □ 選択
英文表記	Legal Cases Study I	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	さとう ひろとし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	佐藤 寛稔	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	さまざまな事件の事例を用いて法律学の基礎、法律の使い方を学びます。			
到達目標	さまざま事例に応じた妥当な法解釈ができる。			
授業概要	法律学は単にそれぞれの法律の条文を暗記するものではなく、実際に起こった問題を適切に解決するための妥当な解釈はどのようなものかを考える学問です。この科目ではさまざまな事例を通じて法的に社会を見つめる目と法的に物事を考える思考力を養います。			
授業計画				
第1回	法的思考入門① 事例を使って法律問題を考えよう！法律学の論じ方を勉強しよう。			
第2回	法的思考入門② 浮気をした側からの離婚請求は認められるか？			
第3回	法的思考入門③ 不当に婚約を破棄された場合に損害賠償請求できるか？			
第4回	法的思考入門④ スポーツ観戦中の事故の責任はだれが取る？			
第5回	法的思考入門⑤ 輸血をしない約束をしたのに医者が手術中に輸血をした場合に損害賠償請求できるか？			
第6回	平等原則① 「分離」すれども平等という考え方は妥当か			
第7回	平等原則② 尊属殺人重罰規定の合憲性			
第8回	平等原則③ 結婚していないカップルの子供の取扱			
第9回	平等原則④ 夫婦同氏 女性の再婚禁止期間			
第10回	平等原則⑤ これからの課題 同性カップル ヘイトスピーチ 感染症患者の尊厳			
第11回	外国人の人権① 外国人が享有できる人権			
第12回	外国人の人権② 外国人が享有できない人権—国際社会と日本の距離			
第13回	表現の自由① 表現の自由はどこまで可能か？リツイート、「いいね」は			
第14回	表現の自由② NHK にどうして受信料を払わなければならない？			
第15回	まとめの講義			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. シラバスを見て、授業前に関係する資料に目を通してください。(1.5時間程度) 2. ポータルサイトで配布される資料の復習をしっかりと行ってください。特に基本概念はしっかりと理解できるまで繰り返し勉強してください。(2時間程度)			
履修条件 受講のルール	法律学とともに大学での勉強の仕方についても学ぶ科目です。しっかりと話を聞き、ノートを取り、発言を求められたときには受け答えできるようにしてください。「人権」を履修すると相互に理解が深まります。			
テキスト	六法は必ず持参してください。			
参考文献・資料	担当教員より適宜指示します。			
成績評価の方法	定期試験 70% 課題レポート 30%			
オフィスアワー	月曜日 9:00~10:30、火曜日 9:00~10:30			

成績評価基準	秀 (100～90点)、優 (89点～80点)、良 (79点～70点)、可 (69点～60点)、不可 (59点以下) ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	法律学が単なる暗記の学問でないことを実感できる科目です。自分なりの考えを述べて、法律学の楽しさを実感しよう。